

曜	午前	午後
1 水	こっとな倶楽部 10:00	
2 木		
3 金		
4 土	(掃除.花:太平洋)	
5 日	ミサ 9:30 (典礼:蘭岳) 7月運営委員会	
6 月		
7 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	キリスト教講座① 18:30
8 水	こっとな倶楽部 10:00	
9 木		
10 金		
11 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 (掃除.花:白鳥)	
12 日	集会祭儀 9:30 (典礼:太平洋) 例会日	
13 月		
14 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	キリスト教講座① 18:30
15 水	こっとな倶楽部 10:00	
16 木		
17 金		
18 土	(掃除.花:楽山)	
19 日	ミサ 9:30 (典礼:白鳥)	
20 月		
21 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	キリスト教講座① 18:30
22 水	こっとな倶楽部 10:00	
23 木	セシリアうたの会 10:00	
24 金		
25 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 (花:蘭岳)	
26 日	集会祭儀 9:30 (典礼:楽山) ミニ大掃除	
27 月		
28 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	キリスト教講座① 18:30
29 水	こっとな倶楽部 10:00	
30 木		
31 金		

	6月	7月	8月	9月	備考
第1ミサ	太平洋	蘭岳	楽山	白鳥	
第2 ※	白鳥	太平洋	蘭岳	楽山	奇数月:集会 偶数月:ミサ
第3ミサ	楽山	白鳥	太平洋	蘭岳	
第4集会	蘭岳	楽山	白鳥	太平洋	
第5 ※			楽山		8月集会

第56回
カトリック苦小牧地区
女性大会
6月27日(土)
苦小牧教会

2026.6.20
カトリック
苦小牧地区
室蘭ブロック
壮年大会
ばんけい温泉
湯人家

2026
6/14
ひとつになろう
カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

秋田聖体奉仕会 マリアンデーに参加して
松岡 健一



教区長のパウロ成井大介司教様、ローマ教皇庁大使フランシスコ・モリーナ司教様をはじめ司祭11名、シスター、信徒合わせて150名位の参加でした。

集いは午前10時開始午後3時解散の予定で進められました。全体は4部構成で、
プログラム 1 聖体礼拝に始まり、プログラム 4 ミサで終わりでした。

プログラム 1 聖体礼拝では、奉仕会担当の司祭の進行の下、歌と、祈りと聖体賛美式が厳かに行われました。つづいて

プログラム 2 では、新潟教区長のパウロ成井大介司教の講話がありました。講話は3つの部分(巡礼について、マリア様について、秋田のマリア様について)に分けて話されました。メモを取りませんでしたので、詳しくお伝え出来ないのが残念ですが、巡礼については当日の集まりの意義について話されたように思います。マリア様についてはカトリックの信仰におけるマリア様の重要性について話され、秋田のマリア様では、マリア様の涙の状況を話されたと思います。マリア様がどれほど私たちに気にかけて守られているか、世界の平和をどれほど望んでいるか、私たちはそれに答えなければならないことを話されたと思います。

秋田の聖体奉仕会は、以前(1975-1981)その聖母像の眼から人の涙が流れ出たことで聖地に指定されている巡礼地です。この聖体奉仕会では何年か前からマリア様を崇敬する集りが開催され、マリアンデーと呼ばれています。近年のマリアンデーには外国からの巡礼者を含め、200名近くの巡礼者が集まるほどに世界的に有名な集まりのようです。

今年(2026)は、この集まりが聖母月の5月16日(土)に開催されることのご案内があり、先着順での受付とのこと、参加出来るかどうかとの思いの中で新年早々に申し込みをしておりましたが、2月に参加許可の通知があり、参加することにしました。参加者は私達夫婦と佐藤瑞江さんの3人で参加しました。

以前の聖体奉仕会は、秋田郊外の静かな林の中に質素な佇まいの場所でしたが、この度は建物も整備され、広場には広い駐車場も完備した、多くの巡礼者を受け入れるに十分な環境でした。

当日は、9時30分頃に聖体奉仕会に着きましたが、もうすでに駐車場は満杯に近い状況で多くの巡礼者が参加していました。参加者の顔ぶれは、新潟



2026年度 第2回運営委員会 議事録

2026年6月73日(日)10:50~11:45

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 6月・7月・8月の予定

6月

- 7日(日) キリストの聖体の祭日、ミサ (太平洋地区典礼当番) ミサ後6月の運営委員会
- 14日(日) 年間第11回主日、ミサ (白鳥地区典礼当番)、例会日
- 20日(土) ブロック壮年大会(於: 壮瞥温泉湯人家) 21日まで
- 21日(日) 年間第12主日、ミサ (楽山地区典礼当番)
- 28日(日) 年間第13主日、集会(蘭岳地区典礼当番) ミニ大掃除

7月

- 5日(日) 年間第14主日、ミサ(蘭岳地区典礼当番) 7月の運営委員会
- 12日(日) 年間第15主日、集会(太平洋地区典礼当番) 例会日
- 19日(日) 年間第16主日、ミサ(白鳥地区典礼当番)
- 26日(日) 年間第17主日、集会祭儀(楽山地区典礼当番)、ミニ大掃除

8月

- 2日(日) 年間第18主日、ミサ(楽山地区) ミサ後8月運営委員会
- 9日(日) 年間第19主日、集会(蘭岳地区) 例会日 共同墓参
- 15日(土) 聖母被昇天の祭日のミサ(午前10時)
- 16日(日) 年間第20主日 ミサ(太平洋地区)
- 23日(日) 年間第21主日 集会(白鳥地区)
- 30日(日) 年間第22主日 集会(太平洋地区)

※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~OPC(パソコン倶楽部) 午後6時30分 キリスト教講座①
- ・水曜日午前10時~こっこん倶楽部
- ・土曜日第二及び第四午前10時~ミサ、その後キリスト教講座②
- ・第4木曜日午前10時~セシリアうたの会

3.2 ブロック会議(5/10)について

新地区長今田神父様の挨拶に引き続き各教会の報告がありその後協議事項を協議した。協議事項は、ブロック壮年大会、地区女性大会、今田神父様の金祝の祝いの件が協議された。壮年大会、女性大会は予定通り実施し、金祝の詳細は室蘭教会と伊達教会に任せられた。その他、特別聖年の巡礼の件と司教書簡の取り扱いを議論したが、聖年の巡礼は東室蘭教会の事業として行い、司教書簡の取り扱いは特に議論にならなかった。最後にライヤ神父様の挨拶と祝福で終了。次回は10月25日、担当伊達教会。

3.3 地区連絡協議会(5/17)について

恒例のように地区長挨拶の後、地区、ブロックの報告、各小教区の報告があり、協議事項として、教区建築修繕基金の相互扶助制度の取り扱いと教会を閉じる場合の費用負担について協議された。結論として、苫小牧地区としては扶助制度の存続と教会閉鎖の場合の費用負担は教区にお願いするよう要望することとした。最後にライヤ神父様、小林神父様か

ら挨拶があり閉会した。次回は11月15日、担当登別教会

3.4 委員会報告

施設委員から別紙により報告がありました。

3.5 財務報告

今のところ順調に推移しています。

4. 議事:

4.1 8月の共同墓参について

室蘭教会と協議の上今年の共同墓参は8月9日(日)午後2時から望洋台霊園としました。東室蘭教会の準備は祭壇の花としました。なお、祭壇下の共同納骨室の取り扱いについて近日中に室蘭教会との協議を行うこととした。

4.2 特別聖年における巡礼について(再々掲)

指定教会巡礼とエスコフィールド見学をするとして貸し切りバスの経費を見積もった。

午前8時東室蘭教会発、午後5時30分教会着 シノヤマ観光に依頼

25名定員 112,730円、29名定員 140,580円、45名定員 154,540円

それぞれ一人あたりは、約4,510円(25)、4,850円(29)、3,440円(45)

45名定員(大型)が断然有利か参加者を集められるかが課題であり、ブロック内の他の教会に呼びかけ、他の教会の参加者も募ることとした。6月下旬をめどに実施の詳細を詰めるため、当教会でも参加者の確認をすることとした。

4.3 バザーの日程について

例年通り9月の第四日曜日(9/27)とする。出し物について、壮年部、女性部で検討することとした。

4.4 6月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について(確認)4ページの表をご覧ください

4.5 教会規約の改正について

別紙資料により検討した。各自検討いただき8月か9月の運営委員会で最終案を決定し、10月に臨時総会を開催し、決定することとした。意見として、役員選挙に当たって、同数票の場合高齢者に決定することとなっている規約の改正についても意見があった。

4.6 壮年大会について

6月20日(土)-21(日)で、1泊、講師は今田神父様。テーマは特になし。参加予定者は日帰りの方も含め、11名の予定。

4.7 その他

- ・司祭館の屋根のペンキ塗り替えについて 見積もりが2社得られたので、教区へ実施の許可を申請中。許可が出れば8月中に実施の予定。
- ・イラスト無断掲載への対応: 教会広報誌へのイラスト無断掲載について使用料の請求があり、司教区とも相談の上、請求の通り(28万円)支払うこととした。

5. 司祭の予定等:

後日、お知らせに掲載

6. ミサ・集会祭儀の予定

6/07 ライヤ師、6/14 小林師、6/21 ライヤ師

6/28 集会 7/5 ライヤ師 7/12 集会 7/19 ライヤ師

7/26 集会

に淡々と進められ、多くの恵みを感じるミサでした。

ミサ後に集合写真を撮って散会しました。参加者が多く、個人的な交流をする機会が無かったのは残念でしたが、カトリック信徒としての恵みを感じた集会でした。

私たちは終わったあと盛岡にまわり、翌日(5月17日)は盛岡の四つ家教会で主の昇天のミサに与りました。主任神父様は、神学生の時小林神父様に指導を受けた板垣神父様だったことと、ミサ曲がCだったことが印象的でした。教会は大きく200名は収容できる大聖堂でした

が、参加者は70名前後だったようで、やはり信徒の減少と高齢化に悩まされているようでした。ただこの教会も外国出身の信徒が多く、主の祈りは日本語とベトナム語(?)で行われるなど、活気はあるように感じました。

以上、雑駁な紹介ですが、巡礼参加の感想といたします。



プログラム 3 では、十字架、かごに乗せられた聖母像を先頭に、奉仕会のマリア庭園をロザリオの祈りを唱えて、一周する聖母行列が行われました。マリア庭園はとても広い庭園で、ロザリオ一環でも全周は出来ず部分的に一周しました。祈りながら黙想するには理想的な環境でした。当日は天気も良く汗をかきながらの行列でした。

最後は、プログラム 4 ミサでした。お二人の司教、11人の司祭全員での共同司式でしたから壮観なミサでした。ミサの中の説教は教皇庁大使の説教で、担当の神父様の通訳で紹介されました。紹介が遅れましたが、司祭の約半数は外国籍の神父様のようなので、通訳の神父様は日本人でしたが、外国語に堪能な神父様のように、説教はラテン語、その後の挨拶は英語のようでしたが、汗をかきながらユーモアたっぷりに通訳をされていたようでした(残念ながら集音機を忘れましたので内容はあまり良く分かりませんでした)。ミサは厳かなうち

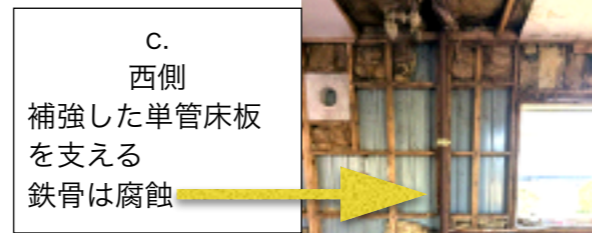
施設部 プレハブの補修報告 期間 2025年度11月~3月

<補修内容>

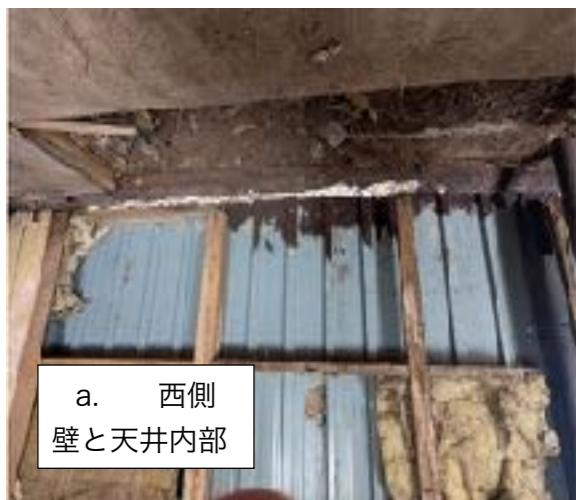
- ・屋根を支えるために単管で屋根を補強 c.
- ・雨漏りしていた屋根にプラスチック波板、その上に亜鉛波板を打ち付け
- ・屋根の雨水を落ちる側にブルーシートを張り壁に雨水が浸透するのを防止
- ・床下の鉄部と木部の腐食部(床下全体の30%)を撤去し、必要に応じて砂を敷き、その上に束石(つかいし)としてコンクリート平板を並べ、根太(ねだ=床板をささえる垂木)置いて補修 b.
- ・西側の壁は化粧板を剥ぎ10mmベニヤを貼り付け a. b.
- ・床板は10mmベニヤを貼り付け、壁との境を巾木(小垂木)で補強 a. b. c.



b. 西側窓下の壁と床との境



c. 西側補強した単管床板を支える鉄骨は腐蝕



a. 西側壁と天井内部



d. 修理終了後のプレハブの内部

<補修後の感想>2019年以来、雨漏り防止のために多くの時間・労力・経費を費やして来たことを思い出しつつ作業を進める。これから何年使えるか。